

[省令第8条の4の6（1,000トン以上排出事業者用）]
様式第2号の9（第8条の4の6関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
長野市長　　荻原　健司　　様		令和6　　年　　6　　月　　27　　日	
		提出者 住　所　長野市真島町川合1060-1 氏　名　長野県千曲川流域下水道事務所 所長　渡辺　剛史 （法人にあつては、名称及び代表者の氏名） 電話番号　026-283-4170	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5　年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	千曲川流域下水道上流処理区終末処理場		
事業場の所在地	長野市真島町川合1060-1		
事業の種類	下水道業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項　目	目　標　値	項　目	目　標　値
排　出　量	145,161.00t	全　処　理　委　託　量	143,961.00t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処　理　委　託　量	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処　理　委　託　量	1,200.00t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1,200.00t	認定熱回収業者への処　理　委　託　量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処　理　委　託　量	
※事務処理欄			

別紙 2

産業廃棄物処理計画実施状況（産業廃棄物の実績の量）

		目標値	産 業 廃 棄 物 の 種 類（実績値）											合 計
			汚泥(上・ 下水、建 設、その	ばいじん										
排 出 量	①	145,161.00t	5,310.00t	130,856.00t										136,166.00t
自ら直接再生利用した量	②													
自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	③													
自ら中間処理した量	④	145,161.00t	5,310.00t	130,856.00t										136,166.00t
④のうち熱回収を行った 量	⑤													
自ら中間処理したのちの 残さ量	⑥	143,961.00t	362.74t	909.34t										1,272.08t
自ら中間処理により 減量した量	⑦	1,200.00t	4,947.26t	129,946.66t										134,893.92t
自ら中間処理したのち 再生利用した量	⑧													
②+⑧自ら再生利用 を行った量														
自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	⑨													
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量														
直接及び自ら中間処理 したのちの処理委託量	⑩	143,961.00t	362.74t	909.34t										1,272.08t
⑩のうち優良認定処理業 者への処理委託量	⑪													
⑩のうち再生利用業者 への処理委託量	⑫	1,200.00t	362.74	909.34t										909.34t
⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量	⑬													
⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量	⑭													

※ 記入に当たっては、「産業廃棄物処理計画実施状況報告書」第3面備考の4を参照してください。

計 画 の 実 施 状 況

(産業廃棄物の種類: 汚泥(上・下水、建設、その他))

不要物等発生量

有 償 物 量

排 出 量

① 5,310.00t

自ら直接
再生利用した量

②

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③

自ら中間処理
した量

④ 5,310.00t

④のうち熱回収
を行った量

⑤

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥ 362.74t

自ら中間処理により
減量した量

⑦ 4,947.26t

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩ 362.74t

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

⑩のうち再生利用業者
への処理委託量

⑫ 362.74

⑩のうち熱回収認定業
者 への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定業
者以外の熱回収を行う
業者への処理委託量

⑭

項 目	実 績 値
①排 出 量	5,310.00t
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	4,947.26t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量	
⑩全処理委託量	362.74t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	362.74
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	

計 画 の 実 施 状 況

(産業廃棄物の種類:

ばいじん

)

不要物等発生量

有 償 物 量

排 出 量

① 130,856.00t

自ら直接
再生利用した量

②

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③

自ら中間処理
した量

④ 130,856.00t

④のうち熱回収
を行った量

⑤

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥ 909.34t

自ら中間処理により
減量した量

⑦ 129,946.66t

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩ 909.34t

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

⑩のうち再生利用業者
への処理委託量

⑫ 909.34t

⑩のうち熱回収認定業
者 への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定業
者以外の熱回収を行う
業者への処理委託量

⑭

項 目	実 績 値
①排出量	130,856.00t
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	129,946.66t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量	
⑩全処理委託量	909.34t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	909.34t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	

(第 3 面)

備 考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が12以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。